

平成31年度入試【推薦入試Ⅰ】問題

小 論 文

(生物資源科学部 環境共生科学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は4枚、下書き用紙は2枚である。指示があつてから確認し、解答用紙、下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

小論文問題紙

生物資源科学部 環境共生科学科

次の課題1と課題2の両方に解答しなさい。なお、解答を必ず課題ごとに指定された解答用紙の所定のところに記入すること。

下書き用紙は、文章の構成や論点のメモ等、自由に用いてかまいません。ただし、下書き用紙も提出すること。

課題1

次の文章を読んで、課題1-1と課題1-2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典：杉原厚吉 「理科系のための英文作法」 中公新書 1994年 中央公論社)

課題 1-1

この文章を読んだあなたは重要な点を友人に教えたいと思いました。友人にはどのように説明するか、150字以内でまとめなさい。

課題 1-2

下線部を本文の内容に基づいて、300字以内で修正・加筆しなさい。ひらがなは適宜漢字に変更してもかまいません。

課題 2

二次的な自然とは、人間が伝統的に利用し維持してきた自然である。二次的な自然を具体的に挙げ、それがどのような伝統的な管理方法によって維持されてきたのかを200字以内で説明しなさい。また、その二次的な自然を現代において維持する方法について、利点および欠点を含め、自分の考えを400字以内で説明しなさい。